

# そろばん楽しいよ

## ちびっ子大会 園児ら340人真剣に



真剣な顔でそろばんをはじく子どもたち。3日、宜野湾市の沖縄国際大学



【宜野湾】初

心者の子どもたち  
ちびっ子大会の  
楽しさを体験してもらおうと、全国珠算教育連盟県支部は3日、宜野湾市の沖縄国際大学で「第25回ちびっ子そろばん大会」を開いた。県内約50の珠算教室に通う4歳から6歳の幼稚園児たち340人が参加した。そろばんを使った1桁や2桁の足し算や引き算60題と、そろばんを使わない暗算50題の計110題が出された。「始め」の合図があると園児たちは、真剣な

顔でそろばんをはじいた。

画面に次々に出てくる数字を足し算する「フラッシュ暗算」の体験もあった。

中には3桁の足し算を7秒間に10回行う暗算に成功する子もいた。出題後は直径10センチほどの金メダルやお菓子が一人一人に手渡された。

そろばんを始めて約1年になるといふ豊里泰士君(6)「恩納村は「難しかった。フラッシュ暗算は3問くらいできたよ」とメダルを得意そうに見せた。大会長の有銘兼勇支部長は「順位を付けずに楽しみなから集中力をつけ、もっとやりたいと意欲を出してくれるとうれしい」と話した。

顔でそろばんをはじいた。画面に次々に出てくる数字を足し算する「フラッシュ暗算」の体験もあった。中には3桁の足し算を7秒間に10回行う暗算に成功する子もいた。出題後は直径10センチほどの金メダルやお菓子が一人一人に手渡された。そろばんを始めて約1年になるといふ豊里泰士君(6)「恩納村は「難しかった。フラッシュ暗算は3問くらいできたよ」とメダルを得意そうに見せた。大会長の有銘兼勇支部長は「順位を付けずに楽しみなから集中力をつけ、もっとやりたいと意欲を出してくれるとうれしい」と話した。